

事務事業名		県河川浄化事業		所属部	建設部	所属課	建設工務課	
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	公共土木G	課長名	松村直樹	
	施策名	〈10〉環境の保全・創造		担当者名	今岡亮	電話番号	0854-40-1063	
	目的対象	市民	意図	地域環境を守り、地球環境に配慮した生活をおくる。				
	基本事業	〈030〉生活環境の保全		予 算 科 目	0:140:0:2	大 事 業 名	河川施設管理事業	
目的対象	市民	意図	生活環境を保全する。				中 事 業 名	県河川浄化事業
				会 計 款	0:140:0:2	大 事 業 名	河川施設管理事業	
				項 目	1:5:10:1:0	中 事 業 名	県河川浄化事業	

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
県管理河川及び地域住民	河川浄化により公共水域を保全する
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	・県河川の維持管理(県との委託契約により、河川敷の除草、堤防除草、堆積土の除去を実施する。)
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
<ul style="list-style-type: none"> ・県との委託契約の締結(4月) ・除草(5月～10月) ・堆積土の除去(11月～3月) 実施河川 委託6河川 浚渫2河川	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度までは各総合センターで実施していたが、平成28年度以降は建設部建設工務課で集約して実施している。 ・平成29年度より市管理河川は河川維持管理事業として分離した。また、加茂町河川愛護協会が実施していた河川除草は道路河川愛護事業へ移行した。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
A 環境美化等の環境の保全・創造に向けて何らかの取組をしている市民の割合	%	67.6	63.6	63.7	63.7
イ 自然環境が守られていると感じる市民の割合	%	69.3	74.3	74.9	74.9
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)	② コストの推移	単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)	
【内訳】 ・委託料 15,896千円(大東町、加茂町、木次町、三刀屋町、掛合町除草) ・工事費 10,096千円(加茂町、三刀屋町浚渫) 合計 25,992千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円	13,300	13,300	12,950	13,000
		地方債	千円				
		その他	千円	1,000	1,000	1,000	1,000
		一般財源	千円	12,399	12,399	12,042	12,000
事業費計		千円	26,699	26,699	25,992	26,000	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	・島根県との委託契約により、県管理河川内の除草及び堆積土の除去を行い、公共水域の保全が図られた。
② 事業実施するうえでの課題	・県河川の浚渫など維持管理の要望が多数あるため、単年度では全ての要望に対応できない。
③ 課題解決に向けた改革改善等	<ul style="list-style-type: none"> ・河川の適正な管理が求められているため、今後も島根県との委託契約により計画的に事業を実施していく。 ・県河川であるため、市の年度計画を超える維持要望については、県で直接対応していただくよう、進達している。